



飲みこみづらい・むせるといった症状がある方は ご相談ください

摂食・嚥下障害看護認定看護師 安井 潤子

こんにちは。摂食・嚥下障害看護認定看護師の安井です。当院には、摂食・嚥下障害看護認定看護師が2名います。

嚥下障害になると食事や水分でむせる、飲み込みづらい、食事の時間が1時間以上かかる、食事の量が減った、最近急に体重が減ってきた等の症状がみられる場合があります。嚥下障害は、脳梗塞などの病気によるものだけでなく、年齢に伴う体の変化や急激な体重減少、筋力低下などでも起こる可能性があります。そして、むせる、飲み込みづらいといった症状がないにも関わらず、肺炎を繰り返

している方も、実は飲み込む機能が落ちている可能性があります。

私たちは、そのような症状がある方の飲み込みが上手くできるかを評価します。そして、実際に食べる場面を通して、安全に美味しく食事が食べられる方法や工夫を一緒に考えます。また、嚥下障害がある方の食事形態、食事の食べ方や簡単な訓練方法の指導を行っています。

もしかして、嚥下障害があるのではないかとと思われる方や何か食事のことで心配のある方は、いつでも気軽に相談にお越しください。

「COPD」って何だろう??

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山内 美樹

皆さんは「COPD」という病気をご存じでしょうか。今、CMでも放映しており、以前は桂歌丸さんや和田アキ子さんも出演し、COPDの疾患であることを言っています。この「COPD」とは慢性閉塞性肺疾患といい、肺気腫や末梢気道疾患、慢性気管支炎といった気道や肺の病気です。原因として喫煙によるタバコの煙が最大の危険因子です。厚生労働省の調査によると、平成11年以降死因順位の第10位に位置しており、今後患者数は増加傾向にあると言われていています。症状としては慢性の咳や痰、活動時の息苦しさ、進行すると体

重減少や食欲不振が出現します。風邪や加齢によるものと見過ごされやすいですが、喫煙歴があり、咳や痰が慢性的にある・歩行時に息切れがするといった症状がある場合は、受診をおすすめします。この季節は特にインフルエンザや肺炎によって症状が進行・悪化がみられるため、まず、心当たりのあるかたは早めの受診をおすすめします。

今現在、COPDで治療をしており、息苦しさがあって日常生活で困っていることや気になることがあればいつでもご相談下さい。